

# 平成31年3月定例会提出予定案件概要

## 名古屋港管理組合

### 《日 程》

議員総会	平成31年3月19日(火)	10時予定
定例会	平成31年3月26日(火)	10時予定

## 平成 3 1 年 3 月 定例会 提出 予定 案件

種 別	件 数	番 号	件 名
予 算	5 件	第 1 号 議 案	平成 31 年度名古屋港管理組合一般会計予算
		第 2 号 議 案	平成 31 年度名古屋港管理組合基金特別会計予算
		第 3 号 議 案	平成 31 年度名古屋港管理組合施設運営事業会計予算
		第 4 号 議 案	平成 31 年度名古屋港管理組合埋立事業会計予算
		第 7 号 議 案	平成 30 年度名古屋港管理組合一般会計補正予算
条 例	2 件	第 5 号 議 案	消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備等に関する条例の制定 について (水族館・港湾会館 etc) → 港建
		第 8 号 議 案	給与条例の一部改正について
その他議案	1 件	第 6 号 議 案	権利の放棄及び和解について
同 意	1 件	第 1 号 同 意 案	副管理者選任の同意について (愛知県副知事)

資料要求  
8%増税時改訂額  
1.0%  
転入の際の考慮

## 平成31年度名古屋港管理組合予算（案）の概要

### 1 予算編成

#### (1) 一般会計

景気は緩やかな回復が続くことが期待されるが、通商問題の動向及び海外経済の不確実性などによる影響に留意する必要があるとあり、本組合を取り巻く財政状況は引き続き厳しい状況にある中、中部圏の「ものづくり産業」を物流面で支える「国際産業戦略港湾」の実現に向けて、港の強靱化を図るとともに港湾機能強化に取り組むため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分した。また、国が公表した「港湾の中長期政策（PORT 2030）」を受け、船舶の大型化等への対応に重点を置くとともに、港湾施設等アセットマネジメント推進計画を踏まえた老朽化対策及び災害対策の充実強化、さらには親しまれる港づくりなど、多様な要請に応えるための予算とした。

#### (2) 基金特別会計

基金を活用して、親しまれる港づくりの核となる名古屋港水族館などの振興事業の円滑な推進を図るための予算を計上した。

#### (3) 施設運営事業会計及び埋立事業会計

企業会計として、名古屋港の港勢発展を図るため、上屋を始めとする港湾施設の効率的な管理運営及び臨海土地造成事業に要する経費を計上した。

### 2 予算規模

会計区分	平成31年度		平成30年度		対前年度比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増△減額	伸率
	千円	%	千円	%	千円	%
一般会計	36,140,000	74.6	27,060,000	70.6	9,080,000	33.6
基金特別会計	341,200	0.7	403,300	1.1	△62,100	△15.4
施設運営事業会計	7,409,000	15.3	7,069,000	18.4	340,000	4.8
埋立事業会計	4,553,000	9.4	3,810,000	9.9	743,000	19.5
合計	48,443,200	100	38,342,300	100	10,100,900	26.3

(注) 施設運営事業会計及び埋立事業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額である。

## 3 一般会計

## 重点施策別内訳

(単位:千円)

区 分	平成31年度	平成30年度	増△減額	伸 率	主な事業内容	
国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	(13,587,000) 7,543,000	(7,236,600) 3,809,000	(6,350,400) 3,734,000	%	(7,988,000)	
					岸壁整備(金城ふ頭及び飛島ふ頭岸壁改良(直轄事業))	2,784,000
					埠頭用地整備等(金城ふ頭護岸整備等(受託事業))	3,343,800
					コンテナ関連施設整備(飛島ふ頭南コンテナターミナル整備(貸付金))	875,700
					航路整備(西航路拡幅等(直轄事業))	(1,340,000) 500,000
					基本計画調査(貨物動向調査等(単独事業))	39,500
港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり	(18,677,000) 12,096,000	(7,760,500) 6,575,000	(10,916,500) 5,521,000	(140.7) 84.0	港湾防災対策(大江ふ頭耐震強化岸壁改良、堀川口防潮水門耐震補強、港内護岸液状化対策、大江川地区土質調査等(補助事業等))	3,122,479
					泊地しゅんせつ(港内泊地等(直轄事業等))	(11,786,300) 5,505,300
					岸壁・護岸改良等(金城ふ頭及び稲永ふ頭岸壁改良、中川運河護岸改良、西部木材港波除堤撤去等(直轄事業等))	(2,310,700) 2,010,700
					臨港交通施設補修等安全対策(道路補修等(補助事業等))	1,003,622
					港湾施設保安対策(保安対策施設維持等(単独事業))	453,899
					環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	2,862,000
港湾厚生施設等(ポートビル等施設補修、新舞子パーク施設補修等(単独事業))	711,609					
水族館(生物借上、水族館施設補修等(単独事業))	596,662					
クルーズ船(ガーデンふ頭岸壁改良・屋根付き通路整備等(補助事業等))	307,326					
再開発整備等(中川運河、ガーデンふ頭等(単独事業))	69,079					

(注) 事業費に係る( )は直轄事業の国負担分を含む。

## 平成30年度名古屋港管理組合補正予算（案）の概要

### 1 予算編成

一般会計の補正予算については、歳入は、国の補正予算に伴う国庫支出金及び組合債の増額並びに公共事業の内示差に伴う県市負担金の減額等を計上した。

歳出は、国の補正予算に伴う交付金事業及び直轄事業負担金の増額並びに公共事業の内示差に伴う国庫補助・交付金事業及び直轄事業負担金の減額を計上した。

### 2 予算規模

区 分	補 正 前 の 額	補 正 額	補 正 後 の 額
一 般 会 計	千円 27,797,000	千円 1,134,000	千円 28,931,000
基 金 特 別 会 計	539,500	—	539,500
施 設 運 営 事 業 会 計	7,069,000	—	7,069,000
埋 立 事 業 会 計	3,810,000	—	3,810,000
合 計	39,215,500	1,134,000	40,349,500

（注）施設運営事業会計及び埋立事業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額である。

## 平成31年3月定例会提出予定案件（予算案以外）

## 1 条例

## (1) 消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

消費税及び地方消費税の税率の引上げ分として、現行の使用料等に110/108を乗じ、端数処理をする等

## (2) 給与条例の一部改正

国及び関係地方公共団体の給与改定に伴い、初任給を引き上げ、期末勤勉手当の年間支給割合を4.4月から4.45月に改定する等

## 2 権利の放棄及び和解

本組合が管理する中川運河沿いの公有地（中川区清川町）の不法占拠状態を早期に解消し、公有財産の適正管理を実現するため、本組合の原状回復に係る請求権の放棄、相手方（破産者）の残置物件の所有権放棄等について和解する。

## 3 同意

石原副管理者の任期満了（平成31年3月31日）に伴う、次期副管理者選任の同意

## 4 議員総会その他説明事項

## (1) 国際競争力の強化に向けた取組について

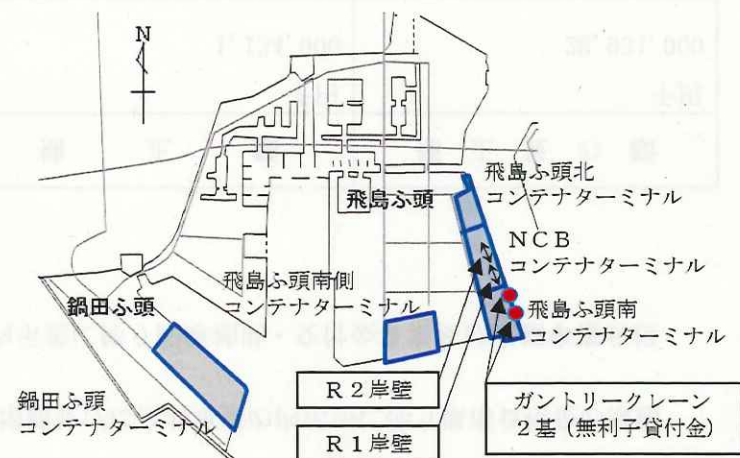
## ア 本組合の取組

- ・国が取りまとめた「港湾の中長期政策『PORT 2030』」を踏まえ、自動化技術を活用した港湾荷役の拡充や、情報通信技術の高度化などによるターミナルの生産性向上について、鋭意取り組んでいく。
- ・LNGバンカリング拠点の形成に向け、LNG燃料船及びLNG燃料供給船の入港料を全額免除するインセンティブを創設する（平成31年4月開始予定）。
- ・平成29年度に名古屋商工会議所により「名古屋港ポートアイランド将来利用に向けた提言」が取りまとめられ、本組合はその活用方法について検討を進めている。

## イ コンテナ取扱機能の強化

名古屋四日市国際港湾株式会社において、無利子貸付金を活用して大型ガントリークレーン2基を整備した。さらに同社は、平成31年度も2基のリプレースを進めていく。

【 飛島ふ頭・鍋田ふ頭 】



ウ 完成自動車取扱機能の強化

金城ふ頭における新規岸壁の整備及び保管用地の造成について、平成30年11月に埋立免許を取得し、同年12月から工事に着手しており、早期完成に向けて取り組んでいく。

エ しゅんせつ土砂処分の対応

国は、新たな土砂処分場について、総合的な視点から、中部国際空港沖を候補地として選定した。現在は、環境影響評価法に基づく準備書の手続きや関係者調整等を進めている。本組合は、国や愛知県及び名古屋市などと連携し、漁業関係者の理解を得ながら鋭意取り組んでいく。

オ 集貨拡大、産業立地の促進

弥富ふ頭第1貯木場南埋立地が平成30年7月、稲永ふ頭埋立地が同年10月に埋立工事が竣工したことから、順次、基盤整備を進めていくとともに、同貯木場北側においては平成30年9月に埋立免許を取得し、同年12月から工事に着手しており、早期完成に向けて取り組んでいく。

(2) 名古屋港の防災対策について

ア 防潮壁

地震・津波対策として、三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画において位置付けられた約15.7kmについて、現在、約1.1km(全体で約2.0km完了)が完了し、約6.8kmについて整備着手・着手検討しており、順次、対策が必要な箇所について整備を進めていく。また、大江川地区においては、防護ラインの見直しに向け平成31年度より海岸保全区域の変更や設計等に取り組んでいく。

イ 防潮扉

防潮扉のアルミ化について、平成30年度に1カ所を整備し、平成31年度完了を目途に残り4カ所の整備を進め、使用しない扉については、平成30年度に1カ所廃止する(廃止後は、総数34カ所)。

(3) 名古屋港における台風襲来時の対応について

ア 台風21号による空コンテナの崩れについて

- ・事業者から、公表についての配慮の依頼があったことに加え、コンテナターミナル外の貸付地であったこと、復旧措置は早期に終結し、物流に大きな影響はなかったことから、事業者からの情報を受けるにとどまった。
- ・今後の対応は、被害報告の情報の範囲を整理し、情報の提供及び共有化等について、関係事業者と確認をし、意思疎通を図っていく。

【 防潮壁整備箇所図 】



イ 台風対策について

- ・対策目標潮位をN.P.+6.0mと設定し、空コンテナの流出や電源設備の浸水について検証した結果、コンテナターミナルにおけるハード対策は不要であることを確認した。
- ・空コンテナ崩れ防止対策は、段落としが有効であるため、コンテナヤード不足への対応と合せ、バンプールの拡張を検討していく。
- ・車両流出対策として、平成31年度に一部のモータープール外周部に防護柵を設置する予定である。

5 ガーデンふ頭にぎわい創出特別委員会説明事項

(1) ガーデンふ頭の状況

ア 名古屋港水族館等

- ・平成4年開館以来初の2年連続して年間200万人を超える見込み
- ・「ウミガメ回遊水槽」は、平成31年3月28日にリニューアルオープン予定
- ・将来的な繁殖環境のあり方として、イルカの繁殖プールが必要であるものの、老朽化した施設の更新の増加が見込まれることから、今後20年間を見据えた中長期計画の策定（平成34年度目途：開館30年目）に取り組んでいく。  
（中長期計画：施設の補修・改修、補修の機会を捉えた新たな展示、イルカの繁殖環境などを総合的に検討）
- ・名古屋海洋博物館において、伊勢湾台風から60年の節目に企画展を開催予定（平成31年7月～9月）

イ クルーズ船の入港状況

平成30年のクルーズ船入港実績は40隻で、平成31年も同程度の寄港を見込んでいる。その中には、日本発着の世界一周クルーズで寄港する外国籍船「サン・プリンセス」が含まれており、日本発着世界一周クルーズ船の名古屋港寄港は初めてとなる。

ウ クルーズ船誘致の取組

ガーデンふ頭において3号岸壁の延伸工事が平成30年度末に完了予定。また、屋根付通路の設置は平成31年度に完成予定

(2) ガーデンふ頭再開発

- ・マーケットサウンディングの結果を踏まえ、アドバイザーからの助言を得ながら検討及び関係者調整を進めている。
- ・引き続き、民間事業者への意見聴取、国や港湾関係者などとの合意形成の進捗を図りながら、2027年のリニア中央新幹線の開業を見据えて、再開発の基本的な内容の具体化に取り組んでいく。
- ・暫定利用を行っているひがし広場については、再開発の取組などに影響がないことを前提に、現事業者との契約を更新するとともに、イベントによる利用を図るなど現在の利用を継続していく。

【 対策目標潮位 】

対策目標潮位	6.0m
伊勢湾台風最高潮位	5.31m
大阪港台風21号潮位	4.70m
神戸港台風21号潮位	3.74m
名古屋港台風21号潮位	3.43m
東京湾平均海面	1.41m
名古屋港基準面	0.00m

※ 数値は名古屋港基準面（N.P.）表示